

1206

第一九八頁

小松原特報第三號
部隊本部

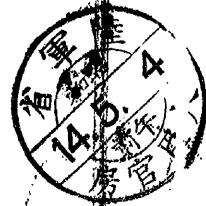
軍人變死ノ件特別報告

昭和十四年四月二十八日 第二十三師團長 小松原

陸軍大臣 板垣征四郎 殿

首題ノ件陸軍報告規程第四條第三項ニ依リ別紙ノ通り
提出ス

陸軍省 陸軍部 第三八七一



(昭和十四年 東京 勅用納)

官等級 陸軍歩兵上等兵

氏名 昭和拾年徵集

一 所屬部隊 歩兵第七十一聯隊第十二中隊

一 月日時 四月二十二日三時三十分

一 場所 第七十一聯隊第十二中隊舎前

一 手段 三十年式銃剣々々依り頸部切創

一 平素又ハ愛死前後ニ於ケル参考事項

右者昭和十二年十一月六日山口市坂田部隊ニ入營 昭和十三年

四月二十日當部隊ニ編入セラル。資性温厚著實ニシテ寡黙

志操堅確特ニ義務心責任觀念旺盛ニシテ進ンテ難局ニ當ル

ノ美風ヲ有シ克ク勤務ニ勉勵其服行ハ熱心確實積極的ニシテ

一般ノ模範トスルニ足ルモノアリ 昭和十三年二月一日歩兵上等兵

ヲ命ス 偶々今回一部兵員交代ノタメ從來ノ被服係タル鶴井

曹長助手菅沼上等兵ハ四月十五日共ニ内地ニ歸還スルニ至リ

四月十一日本人ハ被服係助手ヲ命セラレバリテ之カ業務ニ從事セ

リ當時突然、交代加フルニ防寒被服、返納等ノクメ被服業務ノハ
 特ニ複雑ナル状態ニ在リ、而モ現被服係タル田中軍曹（曹長職務）
 ハ四月十一日岩男隊ヨリ轉入シ來リ本人又交代後日尚淺ク共ニ被
 服ノ現状ヲ詳知スルニ至ラス之カ業務處理ニハ同等困難ナル状況
 ニアリタリ然ルニ責任觀念旺盛ナル本人ハ克ク係田中軍曹ヲ
 補佐シ熱心ニ其任務ノ遂行ニ邁進シ之カ整理ニ努メタル結果其
 ノ成果大イニ見ルヘキモノアリタルモ義務心旺盛ナル本人ハ之ヲ以テ
 満足セス更ニ之カ向上ヲ期スヘク日夜其業務ニ専念シアリタリ
 四月二十一日モ中隊倉庫ニ於テ防寒被服ノ返納準備ヲナス使役兵
 ノ言ニ依ルモ平素ト何等變ル莫ラ認メス二十二時三十分頃寢
 ニ就ケリ

然ルニ翌二十三日三時三十分頃突如殺作的ニ精神ニ異状ヲ生シ
 タルモノ、如ク自己寢台南側ノ窓ヨリ倉外ニ出テ窓下ニテ銃劍
 ヲ以テ頸部ヲ切創自殺シアリタリ
 右自殺シアリタル状態ハ聯隊本部當番トシテ五時三十分頃勤務力

場所ニ行カントセシ椿山一等兵之ヲ發見シ直チニ週番士官青木曹長ニ報告セシニ依リ同官ハ始メテ其事實ヲ知り直チニ所尋ノ處置ヲナス

一、原因

右[]上等兵ノ自殺ノ原因ト判断セラル、モノハ旺盛ナル責任觀念ヨリ日夜業務ノ處理ニ没頭シ性質稍小心ナリシタメ其ノ頭腦錯乱ノ結果夜中發作的ニ精神ニ異状ヲ生シタルモノト認めラル、目下遺言ラシキモノ發見シ得ス家庭上其他ニ因スルモノニアラサルモノト認めム。

一、故意又ハ不可抗力ノ別

故意

一、既遂未遂ノ別

既遂

一、處置

二十二日拾時二十分部隊長檢視ヲ終リ十四時第二陸軍病院ニ運搬、翌二十三日十六時三十分火葬開始、二十四日八時三十分火

死體検案書

一氏名

二男 女ノ別 男

三出生ノ年月日 大正四年三月二十二日

四職 業 第二十三師團歩兵第七十一聯隊第三中隊陸軍歩兵上等兵

五病死自殺其ノ他喪死中毒ノ別 自殺

自殺

六病 名 頸部切創

七發病ノ年月日 昭和拾四年四月貳拾貳日

八死亡ノ年月日 昭和拾四年四月貳拾貳日午前貳時參拾分(推定)

九死亡ノ場所 滿洲國興安北省海拉爾歩兵第七十一聯隊第十二中隊舎前

1121



右検案候也

昭和拾四年四月貳拾貳日

歩兵第七十一聯隊附
陸軍軍醫大尉

高野誠
